

社会資本総合整備計画（防災・安全） 事後評価書

平成28年3月16日

計画の名称	香芝市における市街地の浸水対策、良好な水環境の形成（防災・安全）		
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）	交付対象	香芝市
計画の目標	香芝市において、豪雨による市の浸水防止や地震に強い下水道ネットワークの形成を図る。		

計画の成果目標（定量的指標）	①重要な管渠の地震対策実施率を40%から60%に向上させる。 ②防災拠点（避難所等）におけるトイレ機能確保率を37%から70%に向上させる。 ③管渠の健全度1、2の施設の長寿命化対策、更新対策実施率を0%から35%に向上させる。 ④マンホール蓋の健全度1、2の施設の長寿命化対策、更新対策実施率を0%から28%に向上させる。 ⑤下水道による都市浸水対策達成率を6%から14%に向上させる。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考		
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)			
①重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化又は減災対策が行われている浮上対策完了人孔の数（箇所）／重要な管渠路線で人孔の浮上対策が必要な数（76箇所）	40%	50%	60%			
②防災拠点におけるトイレ機能確保率 被災時のトイレ機能確保済避難者数（人）／避難所収容可能人数（6,549人）	37%	50%	70%			
③管渠の長寿命化・更新対策実施率 管渠健全度1、2の施設の長寿命化対策が行われている管渠延長（m）／健全度1、2の施設の長寿命化対策が必要な管渠延長（2,555m）	0%	0%	35%			
④マンホール蓋の長寿命化・更新対策実施率 マンホール蓋の健全度1、2の施設のうち、長寿命化、更新対策が行われているマンホール蓋の個数／マンホール蓋の健全度1、2の施設の長寿命化、更新対策が必要なマンホール蓋（854個）	0%	13%	45%			
⑤下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（47.1ha）	6%	14%	14%			
全体事業費	合計 (A+B+C) 334百万円 235百万円	A 313百万円 216百万円	B -	C 21百万円 19百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.3% 8.1%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
庁内の公共下水道事業関連部署により、事業実施状況・指標の達成状況の確認及び評価を実施	平成27年度
	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

上段（計画）   
下段（実施）

A1 下水道事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容	市町村名	H23	H24	H25	H26			H27
A1-1	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	汚水	改築	第4処理分区ほか管渠耐震補強（地震対策）	人孔浮上防止対策33箇所 人孔浮上防止対策51箇所	香芝市						51 51	
A1-2	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	汚水	改築	三宅処理分区及び第4処理分区内避難所4箇所	マンホールシステム4箇所24基 マンホールシステム4箇所24基	香芝市						71 70	
A1-3	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	雨水	新設	葛下川第3・4排水区（浸水対策）	雨水管渠整備 L=0.1km 雨水管渠整備 L=0.0km	香芝市						10 0	
A1-4	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	汚水	改築	第3・4・6処理分区及び三宅処理分区（長寿命化）	マンホール蓋、管渠の改築（242個、L=879.4m） マンホール蓋、管渠の改築（231個、L=221m）	香芝市						181 95	
小計															313 216		
B 関連社会資本整備事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27			
合計																	

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村 名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C-1	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	新設	三宅処理分区及び第4処理分区内避難所4箇所	マンホールトイレシステム啓発看板4箇所	香芝市						2	
								マンホールトイレシステム啓発看板4箇所						1		
C-2	下水道	一般	香芝市	直接	香芝市	改築	第3・4・6処理分区及び三宅処理分区（長寿命化）	マンホール蓋取替え（53個）	香芝市						19	
								マンホール蓋取替え（53個）						19		
										合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C-1	基幹事業(A1-2)と同時に啓発看板を設置することで、地震対策事業の啓発PRを図る。															
C-2	基幹事業(A1-4)と一体的に行うことで、管渠の長寿命化・更新対策実施率の向上を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の計画的な耐震化及び改築更新を推進し、下水道としての機能確保と地震時等による二次災害を防止することに寄与した。</li> <li>・避難所におけるマンホールトイレシステムの計画的な整備を実施し、被災時におけるトイレ確保に寄与した。</li> </ul>													
II 定量的指標の達成状況	指標①（重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	要望額に対する交付決定額の増額、補正予算措置、及び単独事業費等により計画以上に事業が実施でき、目標を達成することができた。 【目標値の算出】(33+13)箇所 ÷ 76箇所 × 100 = 60% 【実績値の算出】(51+25)箇所 ÷ 76箇所 × 100 = 100%										
		最終実績値	100%												
	指標②（防災拠点におけるトイレ機能確保率）	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	計画どおり、避難所におけるマンホールトイレシステムを築造し、目標を達成した。 【目標値の算出】4,594人 ÷ 6,549人 = 70% 【実績値の算出】4,594人 ÷ 6,549人 = 70%										
		最終実績値	70%												
	指標③（管渠の長寿命化・更新対策実施率）	最終目標値	35%	目標値と実績値に差が出た要因	要望額に対し交付決定額が減額したことにより、目標値と実績値に差異が生じた。 【目標値の算出】879m ÷ 2,555m = 35% 【実績値の算出】221m ÷ 2,555m = 9%										
		最終実績値	9%												
	指標④（マンホール蓋の長寿命化・更新対策実施率）	最終目標値	45%	目標値と実績値に差が出た要因	要望額に対する交付決定額の増額、補正予算措置、及び単独事業費等により計画以上に事業が実施でき、目標を達成することができた。 【目標値の算出】384個 ÷ 854個 = 45% 【実績値の算出】497個 ÷ 854個 = 58%										
		最終実績値	58%												
	指標⑤（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	14%	目標値と実績値に差が出た要因	国道拡幅工事に随伴して雨水管整備を行う予定であるが、国道拡幅工事の進捗が遅れていることより、目標値と実績値に差異が生じた。 【目標値の算出】7ha ÷ 47.1ha = 14% 【実績値の算出】3ha ÷ 47.1ha = 6%										
		最終実績値	6%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															

## 3. 特記事項（今後の方針等）

・今後も引続き、下水道施設の計画的な改築更新を推進し、下水道としての機能確保と、道路陥没や地震時等による二次災害を防止することに寄与していく。